

## (2) グランド・ティートン周辺 (斎藤光子)

ジャクソンホールハイウェイ、ティートンパークロードは移動のために何度往復したことか。日を変え、時間を変え。通るたびに思わず歓声が出てしまうほど、どこを見回しても絵になってしまうほど美しい風景が広がっていた。

BC のシグナルマウンテンキャンプ場周辺を湖畔沿いに散策する。点在するコテージの間からキツネ?、オオカミ? 二匹と遭遇!! 後にオオカミと判明したが、あちら様も私たちを見ながらヒョイ、ヒョイと姿を消した。いきなりこんなにも間じかに遇えた事にビックリ。

### Sacred・Chapel

BC よりティートンパークロードを徒歩で30分ほど北上した所にある教会。ジャクソンレイク、咲き誇る花に囲まれた美しいロケーション。礼拝堂のステンドグラスが輝いていた。



### トランスフィギュレーション礼拝堂

ティートン連山を背に草原の中、ポツンと建つ丸太作りの礼拝堂。大きな窓の前、十字架と窓越しに見える山並み。まるで絵画のようであった。.



### アンテロープフラット・ロード沿い

やはりティートンの山並みと広い草原に19世紀に入植し、開墾に苦勞した人達の居住地跡。未だ古い建物が残り、今はそれが観光のひとつになっている。



## トラムウェイ（ロープウェイ）に乗って

5日前のビジターセンターの情報によると、ロープウェイの終点から雪が多くコーディーピークのトレッキング（当初の計画）は無理との話であったが、ロープウェイを降りると、そこは真夏の日射しと全然雪の無い茶色の広い台地。山並みが連なる360°の展望と高山植物の小さな花々。コーディーピークにも所々雪は残ってはいるが、遠くに見えるトレイルはすっかり夏道になっていた。

トラムウェイ乗り場はロッジ風のレストラン、土産物店が点在し軒先には花かごを飾りスイスに居るような雰囲気であった。



コーディーピークを望む

## スネーク・リバー ラフティング

グランド・ティートン国立公園内には沢山の美しい湖や川があって、湖畔や水辺の美しい風景が至る所に見られる。また、ジャクソン・ホール of 広大な草原にはスネーク川がゆったりと蛇行して流れ、ティートン連山の姿を映している。スネーク川は、シアトル付近で太平洋に注ぐコロンビア川の支流で、全長1700kmに及ぶ大河であるが、この辺りが源流となっている。

グランド・ティートン国立公園局では、この川をゆったりと下りグランド・ティートンの山々をボートから眺めるラフティングを行っている。猛暑の一日、川下りを楽しんだ。川辺では鴨の親子連れやビーバーの姿も見られた。



## 国立野生動物美術博物館

キャンプを終えてジャクソン市街へ戻る途中、この美術博物館を見学した。アメリカ中西部の開拓時代の動物との関係（その殆どはバッファローとの闘い）が絵画や彫刻などによって展示されていた。



(館内では撮影禁止のため、同館で購入した画集より転載)



2013/07/04

## その他、ジャクソン市街

ジャクソン市街には、肉などの買い出し、帰国前日のモーテル宿泊などで何回か行った。小さな町ではあるが、如何にも西部開拓時代を彷彿とさせる佇まいであった。



2013/07/04

(中央広場にある鹿角のアーチ)



2013/07/04

(2頭立てのコーチ)



2013/07/04



(毎週末に広場で行われる決闘劇)